

基本目標2 みんなで働き方を考えよう(基本施策4～6)

基本施策4 就労環境の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
14	再就職相談	商工課	継続	<p>実施時期:通年 対象:再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:ワークサポート三条(三条市就労支援相談室)の職業相談員による就労支援及び情報提供を行うとともに、再就職を目指す子育て中の女性を対象にしたセミナー等を開催し、再就職に対する不安解消やアドバイスを行う。 前年度からの改善点:再就職を希望する女性等がより相談しやすい環境を作り、相談者の増加につなげられるよう、相談方法の選択肢の周知を図る。 目標値:相談者数 延べ200人 予算額:3,141千円</p>
15	就職ガイダンス	商工課	継続	<p>実施時期:未定 対象:再就職を希望する女性等 目的:出産・子育てといったライフステージを経た女性が、労働の場に復帰できるように支援を行う。 内容:関係機関と連携し、女性が応募しやすい職種に限定した就職ガイダンス等の情報を提供する。 前年度からの改善点:女性が応募しやすい職種のガイダンス開催情報の入手に努め、三条おしごとナビを始め、様々な媒体を活用して広く周知を行う。 目標値:年2回(2日連続)開催</p>

16	創業塾pontekia	商工課	継続	<p>実施時期:7月～11月</p> <p>対象:市内に創業を検討している方又は創業の知識を身につけたい方</p> <p>目的:女性や若者の創業を支援するため、創業希望者や既出店者が経営についてのノウハウを学ぶ場を提供し、長く続く店づくりに寄与する。</p> <p>内容:女性や若者が創業前に必要知識を学ぶことで、長く続く店づくりを支援する。</p> <p>(創業の心構え、先輩創業者体験談、創業の基礎知識、店舗視察、顧客の獲得方法、金融相談会、創業資金について、ビジネスプランの作成及び完成、プレゼンテーション)</p> <p>前年度からの改善点:前年度は感染症流行拡大の影響により、先輩受講生や受講生同士の交流の機会を設けることができなかったため、今年度は感染症の状況に応じながらも、受講生同士が交流できる機会を設ける。</p> <p>目標値:受講生15人以上</p> <p>予算額:962千円</p>
17	女性のための働き方セミナー	商工課	新規	<p>実施時期:6月</p> <p>対象:これからの働き方(創業・起業・就職・転職)を模索している女性</p> <p>目的:結婚や出産を機に環境が変わり、これからの働き方を模索している女性に対し、創業や再就職を支援する。</p> <p>内容:自分の「好き」や「得意」を活かして、新たな事業を起こしたい女性を対象に「やりたいことのコンセプトメイクをする場」(セミナー、ワーク、個別相談会)を提供し、将来の創業や、再就職へ繋げる(企業内起業を含む)。</p> <p>目標値:受講生10人以上</p> <p>予算額:695千円</p>
18	働く女性のためのスキルアップセミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.1に同じ

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
19	求人求職マッチング事業	商工課	継続	<p>実施時期:調整中 対象:市内の事業所 目的:男性も女性も子育てしながら働きやすい環境が整えられるよう事業所における両立支援の理解を深める。 内容:事業所における人材不足解消のため、子育て等のために離職した女性の雇用のために求められるニーズを市内企業に提供するセミナーを開催する。 前年度からの改善点:セミナー参加事業所数の増加を図るため、来場方式とオンライン方式を併用するなど、参加しやすい環境を整える。 目標値:年1回開催 予算額:137千円</p>
20	雇用・労働の場における男女共同参画に関する広報・啓発活動	商工課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市内の事業所、市民等 目的:雇用、労働の場における男女共同参画の推進を図る。 内容:セクシャル・ハラスメント防止、雇用機会の均等、両立支援等引き続き(公財)21世紀職業財団、(公財)新潟県女性財団等関連団体のホームページのリンク等、広報・啓発を行う。 前年度からの改善点:引き続き、事業所宛の周知は、三条市勤労者福祉共済のたよりが従業員にも配布されるタイミングを利用し、2回以上配布する。 また、ホームページの検索キーワードを工夫する。 目標値:ホームページ等での周知のほか、事業所宛に年2回以上配布する。</p>

基本施策5 子育て環境の充実

No	事業名	担当課等	継続	実施計画内容
21	多様な保育ニーズへの対応	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市民全般 目的: 子育てを支援していく環境の充実を図り、女性の社会参加につなげる。 内容: 女性が働きながら、安心して子育てできる環境を整えるため、保育所での乳児保育や早朝・延長保育、すまいるランド・あそぼって、子育て支援センターでの一時預かり等を継続して実施する。 また、新潟県済生会三条病院附属保育園たんぼぼ内の病児・病後児保育ルームなのはなで、病児・病後児保育事業を継続実施し、多様化する保育サービスの充実に努めていく。 前年度からの改善点: 多様化する保育ニーズを把握し、継続して事業を行っていく。 予算額: 3,181,411千円</p>
22	子どもの放課後等の居場所の確保	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 小学生～高校生 目的: 安心して働くことのできる環境を整え、女性の社会参加につなげる。 内容: 小学生の放課後等の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室を継続して実施する。また、中・高校生を対象に夏休み期間に公共施設の開放を行う。 また、安心して子どもが過ごすための放課後の居場所づくりについては、利用児童数増加に対応できるよう居場所の確保を進める。 前年度からの改善点: 地域の状況を(施設や人材等)を整理し、小学校や関係機関との具体的な協議を行い、検討していく。 目標値: 設定しない 予算額: 238,931千円</p>
23	育児講座(再掲)	子育て支援課	継続	No.9に同じ
24	ファミリーサポート提供会員養成講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 11月～12月(予定) 対象: 市民 目的: 社会全体で子育てを支援していく環境を作り、女性にかかる子育ての負担を軽減する。 内容: 民間団体等において子どもを預かる方(ファミリーサポート提供会員)を養成するための講座を実施する。また、既会員等の資質向上のためのスキルアップ研修と兼ねて実施する。 前年度からの改善点: 受講者確保のため、参加しやすい日程や実施場所を検討する。また、チラシなどの表現に注意する。 目標値: 全受講者のうち、新規受講者の割合を25%以上とする。 予算額: 70千円</p>